

事業概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 事業名	農村体験型ツーリズム推進のための青少年教育プログラム構築
3. 事業の背景と必要性	<p>ベトナムは、2018年に外国人観光客1,500万人、国内観光客8,000万人を超え、各地で観光による地域振興に期待が高まっている。観光客の訪問先は都市部に留まらず、農山村地域へ広がり、自然、文化遺産、暮らし等の非日常的な体験を求める動きが活発化している。一方、働き口を求めて若者が地方部から都市部に流出し、これらの観光産業を含めた地域の担い手が不足している。</p> <p>本事業では、ランソン省バクソン郡バククインコミュニティを対象に、小中学校の教育に地域について学ぶ体験型学習を導入し、ベトナム青年団の協力のもと地域資源を活用した体験型ツーリズムを形成することで、青少年層の地域への意識を促し、人口流出や雇用促進等の地域課題の解決を目指す。</p>
4. プロジェクト目標	農山村地域の課題解決に向けた、体験型ツーリズム推進のための青年団を核にした教育プログラムが実行される。
5. 対象地域	ランソン省バクソン郡バククインコミュニティ、山梨県笛吹市芦川町
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在ベトナム日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	バククインコミュニティの小中学生、バククインコミュニティ住民 ベトナム中央青年団、ランソン省青年団、バクソン郡観光ガイドクラブ、バクソン郡人民委員会、バククインコミュニティ人民委員会
8. 事業活動	<p>【活動1】ランソン省バクソン郡バククインコミュニティの農山村体験ツーリズムが形成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学生と地域資源調査を行い、体験型ツーリズムを企画する。ガイド研修やプロモーションを行い、既存の観光拠点（ホームステイ等）と結び付け仕組化する。 <p>【活動2】体験型ツーリズム推進のための青年団及び教育機関の行動計画が策定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の課外活動の制度調査を行い、課外授業のプログラム開発、テキスト開発を行う。普及展開のためのワークショップを実施する。 <p>【活動3】ベトナムと日本の地域課題解決に向けた観光教育プログラムが共有される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山梨県笛吹市芦川町で農村体験型ツーリズムを企画運営する。本邦研修を行い、双方向で学びあう。
9. 実施期間	2021年5月～2023年10月（2年6ヵ月）
10. 事業費概算額	10,000千円
11. 事業の実施体制	山梨県立大学国際政策学部教員チームを中心に、ベトナム青年団とともにランソン省の小中学校向けの課外授業を実施する。中央青年団・教育訓練省とともにランソン省の取り組みをもとに、普及展開の仕組みを構築する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	公立大学法人山梨県立大学
2. 活動内容	「グローバルな知の拠点となる大学」「未来の実践的担い手を育てる大学」「地域に開かれ地域と向き合う大学」を目指し、教育、研究、地域貢献活動を展開している。